



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ



例会プログラム

国際奉仕について 11 月 5 日 (火)

担当：国際奉仕委員会

NO. 3036 第 13 回例会



例会案内 例会案内「11月～12月」

- 11月 5日(火) 国際奉仕委員会担当例会
- 11月12日(火) 地区大会報告
- 11月19日(火) 法定休会
- 11月26日(火) ロータリー情報1
- 12月 3日(火) クラブ運営について
- 12月10日(火) クリスマス家族会
- 12月17日(火) 年忘れ例会

会長報告 飛弾野会長

本日は夜間例会で会員の出席も多いようで嬉しい気持ちになっています。

雪もちらほら降りだして、私は遠方へ行くことが多いのでもうタイヤ交換を済ませました。皆様もタイヤ交換は早めにしたほうが安全だと思います。

26日に旭川ロータリークラブの創立90周年式典がございます。我が深川ロータリークラブのスポンサークラブでもありますので、平瀬幹事、伊東エレクトと3名で出席してまいります。

出席報告 10月22日例会

総会員数 31名 (出席免除者1名中0名出席)
 欠席者数 6名 津田, 北村, 成田(雅), 古田
 宮澤, 佐々木各会員
 出席率 80.00%
 前回メーキャップ 0名
 前回修正出席率 80.00%

スマイルBOX

累計 153,000 円

木村喜芳副会長 遅刻

新会員の山脇 康弘です。本日は山脇家の生い立ちを皆様にご存知いただきたいと思います。四国の徳島県阿南市から屯田兵として江部乙町に入植しました。21年前、家系図を作るために父が四国に当時の文献等を調べに行っております。明治34年11月4日に江部乙に入植しました。当時は「まほう」という名前で、阿南市の文献を調べると戦国時代、蜂須賀小六という武将がいました。四国をまとめた時に阿南市で17万石の土地をいただいております。その文献の中に「まほう」名前が出てきましてもしかすると蜂須賀小六の子孫ではないかと思いましたが、江部乙町でリンゴ園をしていた時に私の祖父が生まれました。その後祖父は第2次世界大戦で機械工として東京で終戦を迎えました。その後深川に帰り山脇農機具を立ち上げました。その後北海道中セキの常務となり深川で釣具店も経営しており、65歳で亡くなりました。そして父が生まれ私が生まれ祖父の釣具店を引き継いでおりました。その後父は深川美装へ行き昭和53年5月に今の会社を立ち上げ創業46年目となっております。父が2年前に役員を降りております。私が父から学んだことは「人とのつながり」が大事だということです。これを生かしながら活動をしていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

新会員卓話

クリーンで身近なエネルギーLPGガス

樋口孝志 会員

■LPGガスの作られ方

LPGガスは、ガソリンや灯油、軽油、重油などと同じく原油や、天然ガスと一緒に取り出されるものです。

原油は数百万年以上前に死んだ動物や植物が地中にうもれて、とてつもない長い年月をかけて分解されて出来ているといわれます。原油は地中や海底深くに眠っていて、その量が多い場所が油田と呼ばれています。

■原油取り出す方法

①地下深く穴を掘って、原油や天然ガスを取り出す際にLPGガスも一緒に取り出されています。

②原油から蒸留塔と呼ばれる設備で原油を加熱して、温度の違いでさまざまな石油製品に分けられてLPGガスを取り出します。

30℃以下 LPGガス 30℃～180℃ ガソリン 170℃～250℃ 灯油 250℃～350℃ 1軽油 350℃以上..重油、潤滑油

■輸送方法

LPGガスを液体にして中東諸国やアメリカなどの海外から20日以上もかけてタンカーで運ばれて日本のLPGガス輸入1次基地に貯められます。

そこから日本全国に運ばれてきます。(日本で作られているLPGガスの約3/4は海外でつくられて輸入されている)国内でも6%ほど新潟、秋田、勇払の国内で生産があります。

■LPGガス性質

リキフアイドペトロリウムガス(液化石油ガス)略称で常温・常圧では気体ですが、常温で低い圧力をかける事によって容易に液化しやすく液体にすると体積は液体時の1/250となるのでL

Pガス容器に入れ、どこにでも運ぶことが出来便利なガスになります。ガスの比重が空気より重い為、空気中に放出された場合は、底部に滞留しますので漏洩時には部屋の換気が必要となります。臭いですが、LPGガスは本来無臭無臭です。良く玉ねぎの腐敗した匂いと言われます。良くも保安上の観点から漏洩に感知できるような硫黄系化合物で着集してあります。着臭量は法記で決まっております安全上には問題ありませんが、かぐわしくない臭いを付けていると言う事です。

■家庭燃料として使用

家庭燃料として薪や炭が使われていた戦後1953年(昭和28年)頃から取扱いが容易で熱量の高いLPGガスが家庭に普及してきました。当時は質量販売が主でした。1972年(昭和47年)にLPGガスの体積販売と制度化になり、メーターが付きその指針で体積販売されるようになりました。今では、安全装置が充実しな火を消し忘れにも感知し止まるようになっています。通信機器とセットで集中センタに通報が入りお客様にお知らせするような設備にもなっております。

■環境にやさしいLPGガス
現在、世界規模で低炭素化社会の実現に向けさまざまな取組みがなされております。省エネルギーの推進を始め化石エネルギーの高度有効利用や非化石エネルギーの導入拡大等の様々な施策が展開されており、温室ガスを削減するには、クリーンなエネルギーを効率的に利用する事が必要です。LPGガスは化石エネルギー(石油、石炭など)の中でも天然ガスと共にCO2排出量が少なく燃焼時の排出ガスも極めてクリーンなエネルギーとして位置づけられています。

■災害に強いエネルギー
なんとと言っても強靱なのが各需要家ごに供給している「分散型エネルギー」の為、災害発生時に供給が遮断された場合でも、家屋の横にLPGガス容器が設置されている状態なので、天然ガスや電力が断たれいち早く復旧させ使用することが可能でエネルギーになりませす。そして、災害時に被災された方の避難所や仮設住宅で給湯、煮炊きに加え暖房、発電などを行うエネルギー源として、迅速に供給する事ができる特性を持っています。

最後に、平成23年3月の東日本大震災、平成28年4月熊本地震、平成30年胆振東部地震、まだ記憶も生々しい今年1月1日に能登半島地震が発生しました。近年は地震以外にも世界的な気象異常が報道される中、台風、洪水災害等が頻発して、日本を縦断して全国各地から多くの被害が伝えられ、災害対応の備えの重要性は日々感じているところです。国家備蓄、民間備蓄合わせ90日分の備蓄があります。ライフラインをいかに確保するのかがという災害課題の中でライフラインの一つとして「分散型エネルギー」のLPGガスが震災時でも復旧が早いという特徴を持っていてエネルギー基本計画で「最後の砦」と位置づけられています。



	会長 飛騨野貴広 幹事 平瀬 文男	会長 エレクト 伊東由紀夫 副幹事 宮澤孝司	副会長 木村 喜芳 会計 廣上 晃士	
	例會運営委員会 委員長 森 隆江 副委員長 富 永 隆夫	深川RC ■例會場 ラ・カンパーニュホテル深川 ■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号 プラザ深川3F TEL (0164)34-6228 ■URL H http://mypage.fukanavi.com/rotary/	■例會日 毎週火曜日 ■姉妹クラブ 南海RC (韓国) ■第2510地区第1グループ ■Mail fukagawa-RC@club502.jp	